



は せ がわ ゆき こ
長谷川 幸子

に ほん きょう さん どう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

安心して学べる奨学金制度の実現を

問 奨学金の返済に苦しむ若者が増え、社会問題になっている。日本での奨学金は、ほとんどの場合が借金であり、大学生の3人に1人が日本学生支援機構から借りている。奨学金利用者が増え続ける一方で、就労状況は悪化し、非正規雇用や年収300万円以下など、厳しい雇用と経済状況で、返済したくても返済できない人が急増している。津市独自の奨学金制度の創設を。

答 高等学校における給付型奨学金として、国の高等学校等就学支援金制度では授業料相当額が給付され、三重県の高校生等就学給付金制度では授業料以外の教育費支援が行われていることから、これらの制度について、県教育委員会を通じて各中学校に周知を行っている。

また、大学等に入学する者に対する市の奨学金制度としては、市町村合併時の協議により廃止され、現在は、日本学生支援機構の奨学金制度など同種の制度もあることから、新たな市独自の奨学金制度を創設することは考えていない。ただ、高等教育の無償化や返済の要らない給付型奨学金の拡充について、国での検討も始まっていることから、その動きを注視していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 待機児童解消への道筋は
 - 待機児童の実態を正確につかみ対処すべき
 - 公立の保育所を増やすべき
 - 保育士確保と処遇改善を
- 教師の多忙化・過重労働からの解消を
 - 今、学校に必要なのは人と予算。適切な配置を
 - 中学校の部活動について
- 学校給食の無償化を など



▲教師の多忙化を考える上で欠かせない中学校の部活動



な か がわ た み ひ で
中川 民英

に ほん きょう さん どう つ し ぎ だん
日本共産党津市議団

住宅リフォーム助成制度の創設を

問 この制度は、住宅リフォームを行った場合に経費の一部を助成することで、住宅の改善を容易にするとともに、中小零細事業者の振興を図るものである。地域に目を向けた循環型経済への方策であり、経済効果も大きく、その効果は各地で数十倍とも報告されている。地域経済の活性化について、必死で取り組まなければならない状況の中、制度導入に踏み出してはどうか。

答 地域資源を積極的に活用し、地域内で投資が繰り返されるような施策を実施することが、地域循環型経済の発展につながるものと考えている。

当該制度もその手法の一つと考えられるが、津市では既にそれぞれの利用者の立場から目的に応じたリフォーム補助施策を展開し、また、商業振興に資するという面から、商店街等活性化事業補助制度による空き店舗の改修費補助を実施していることから、今後もそれぞれの目的に応じたリフォーム補助施策を実施していくことが重要であると考えている。



●その他の質疑・質問●

- 空き家対策について
 - 新たな空き家の抑制を
 - 空き家の利活用について
- 橋南公民館の移転について
 - 修成小学校周辺など、交通危険度が高い地域へのアクセスを十分考慮せよ
 - 地域住民の意見を反映せよ
 - 健康づくり、たまり場づくり、子育て支援など地域交流の充実を



▲増え続ける空き家。修繕なしで住める物件が多い